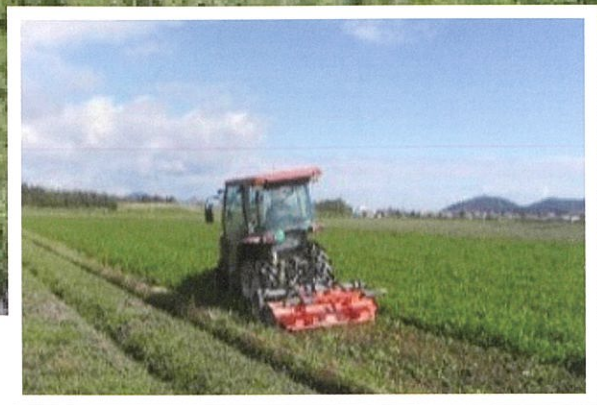


ヘアリーベッチを活用した 水稲栽培の手引き

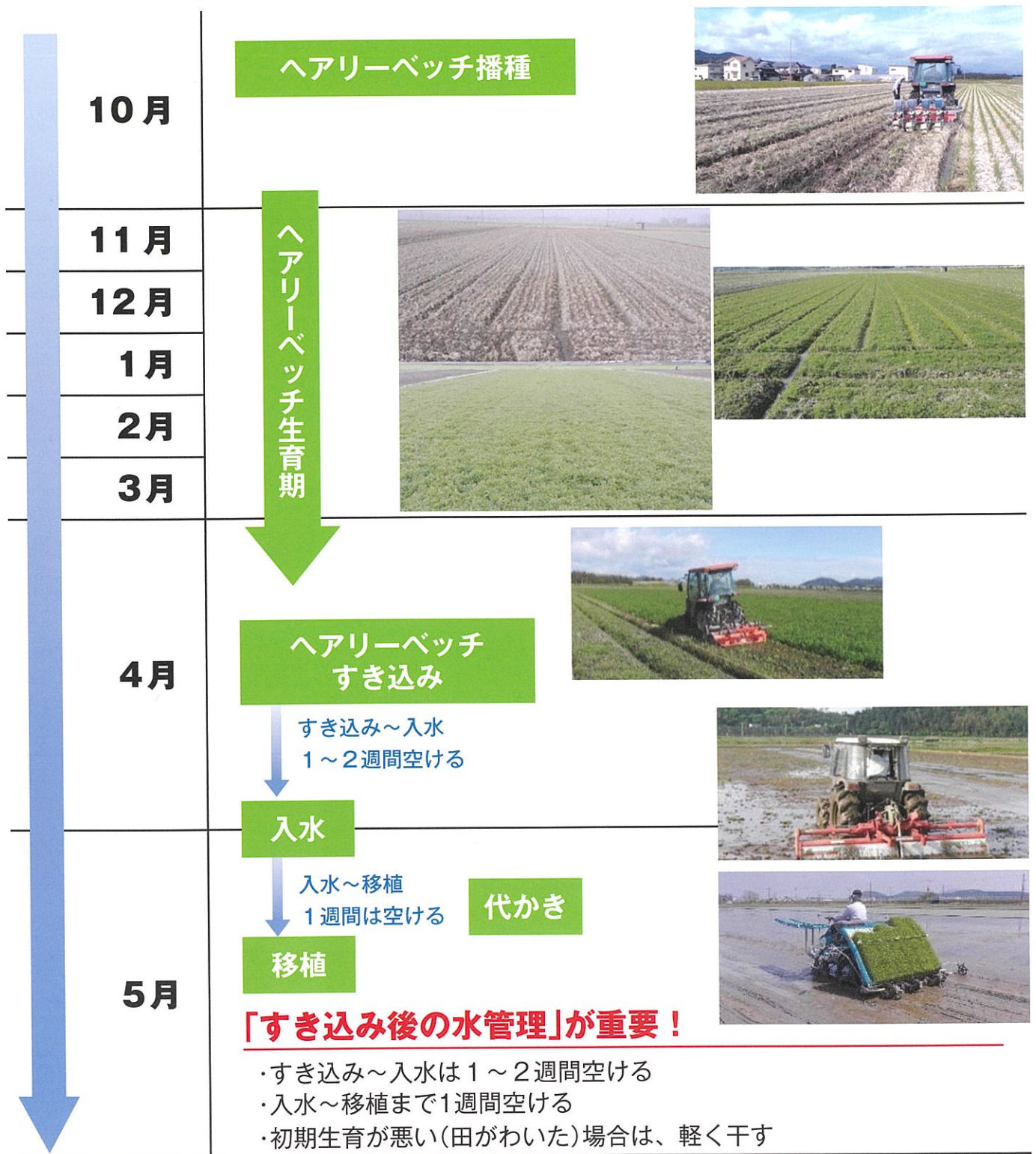


1 ヘアリーベッチ活用のメリット

ヘアリーベッチはマメ科の緑肥植物であり、根粒を形成し窒素固定を行います。
レンゲより優れた緑肥効果があります。

- 肥料削減(基肥・穂肥が不要)
- 土壌の物理性改善
- 土壌の肥沃度・保肥力の増加

② ヘアリーベッチ跡水稻栽培の流れ



③ ヘアリーベッチ跡水稻における施肥の考え方

基肥、穂肥は基本的に施用の必要はありません

・ただし、幼穂形成期に葉色が薄い(葉色板4以下、SPAD値36以下)場合は穂肥で窒素成分1～2kg/10aを施用する必要があります。

4 ヘアリーベッチの栽培ポイント

① 品種選定

早生と晩生があり、水稻の移植時期にあわせて品種を選びます。

早生品種

連休植えの水稻栽培に向く

- ・春先の生育にすぐれ、生育量を確保しやすい。
- ・ただし、晩生品種より耐寒性・耐湿性は劣ります。

晩生品種

5月中旬以降植えの水稻栽培に向く

- ・耐寒性に優れます。
- ・春先の生育は早生品種よりも劣りますが、すき込み適期の生育量は多くなります。

② 播種

「排水対策」・「均一な播種」が重要！

- ・水稻収穫後、額縁明きよと排水溝を設置します。
 - ・播種量 3～5kg/10a(均一に播種)
 - ・播種適期 湖辺・平坦:10月20日～30日、中山間:10月15日～25日
- ※播種が遅れると越冬に必要な生育量を確保できません。

ヘアリーベッチ播種方法

① 散播+ロータリー

- ・均一に播種する
- ・播種後、ロータリーでごく浅く耕起(3cm程度)

※隣接のほ場への飛散に注意

② 条播(シーダー)

- ・播種～覆土まで一工程で可能
- ・播種深は3cm程度が最適
- ・条間は20～30cm程度



③ すき込み

「適正量のすき込み」が重要！

ヘアリーベッチは3月以降、急激に生育旺盛となります。すき込み量が多いと水稻の倒伏や食味低下のおそれがあるので、適期を逃さずすき込みます。

・適正量は**推定窒素量約8～12kg/10a**

ヘアリーベッチすき込み方法

※①がおすすめです

① フレールモア+ロータリー

・フレールモアによる細断→ロータリーによるすき込み

② ロータリー2回

・ロータリー1回目で地上部を切断→2回目で土壌にすき込み

【ヘアリーベッチのすき込み適正量の測定方法】

- ヘアリーベッチの生育が平均的な場所で、50cm × 50cm の面積のヘアリーベッチの地上部を刈り取ってすき込み適正量を測定します。
- すき込み適正量の目安: 生重量が500 ~ 800g の頃



	推定窒素量 (Nkg/10a)	ヘアリーベッチ生重量 (50cm × 50cm g)
倒伏しやすい品種 ↑ ↓ 倒伏しにくい品種	8	526
	9	592
	10	658
	11	724
	12	789

【適正量のほ場とヘアリーベッチの様子】

(推定窒素量約 8 ~ 12kg/10a、生重量500 ~ 800g/50cm × 50cm)



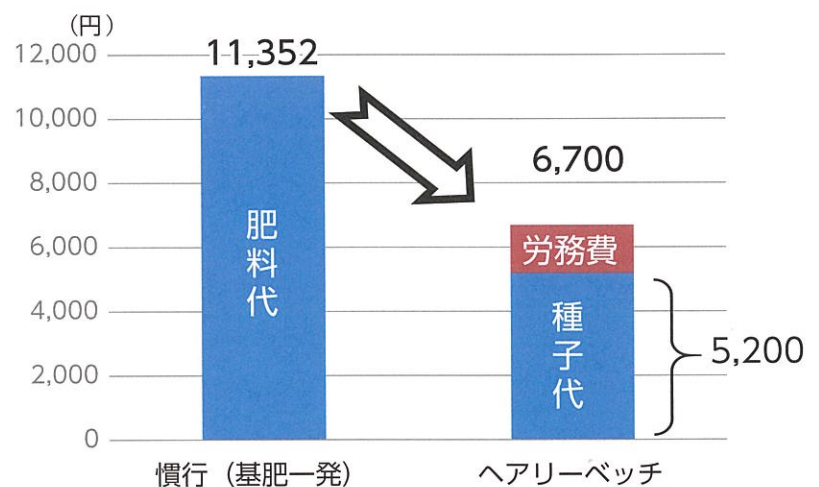
草高が30cm ~ 50cm 程度

5 経営上のメリット

- 基肥一発体系に比べ
約5,000円 / 10a
コスト削減が可能!

(注) 令和元年度の価格での試算

基肥一発体系: みずかがみ基肥一発(60kg)
ヘアリーベッチ: 播種量4kg
労務費=排水対策、ヘアリーベッチ播種・すき込みの作業時間に時給1000円で計算



令和4年(2022年)9月発行

【執筆】 滋賀県東近江農業農村振興事務所農産普及課 TEL0748-22-7727 / 0748-22-7728
【発行】 東近江地域農業センター TEL0748-48-8288